卒業論文

介護関係者の先端技術活用に対する意識

2013 年度入学
九州大学 文学部 人文学科 人間科学コース
社会学・地域福祉社会学専門分野
2017 年 1 月　提出

要約

本論文は、現在の日本の介護をめぐる現状や課題についての解決策として、先端技術の活用が注目され始めた中、介護サービスへの導入に対しての障害がどのような点にあるのかを、介護を取り巻く現状や課題、また関係者に対するヒアリングなどを通して、今後の介護領域に対する先端技術利用の可能性について論じることを目的とする。

はじめに、日本の介護に関わる社会問題として少子高齢化や地方の過疎化、社会保障費増大の問題を取り上げ、近年の介護で叫ばれている人材不足などの原因について言及する。その後、介護の現状として、介護に関わる法制度や資格、介護施設などのサービスに関する基本情報についてまとめている。次いで、政府が定めている介護領域における IT 技術利用の枠組みから、その枠組みに則った研究と、枠組みから外れてはいるものの、現段階で介護領域に導入されている先端技術の事例を紹介する。その最たる例が VR 活用であり、実際に VR を介護事業所のリハビリテーションへの動機付けとして行っている方のインタビュー記事を取り上げた。そして、事例紹介の中では、先端技術活用による良い面だけではなく、活用推進における懸念点についての整理も行った。また、日本のみならず海外における介護の事例としてスウェーデンを取り上げ、スウェーデンにおいて導入されている先端技術についての紹介も記述した。

次に、本論文の調査手法として質的調査の半構造化インタビューを用いた背景について、先行研究や公開データなどの側面からまとめた。分析の焦点として、先端技術に対する意識、先端技術導入に対する懸念、今後の介護についてという 3 つに分節化し、導入に対する意識や行動の段階があることを示した。

つづいて、調査対象の基本情報と選定理由について整理している。調査対象者は、介護事業所の経営者と、前職介護コンサルタント従事者、介護支援サービスを行っている企業の代表取締役の 3 者に決定された。調査結果について、介護事業者に対するヒアリング内容に関しては、ディスカッションの内容をテーマごとに整理し記述することにより、現状抱えている課題や今後の課題について整理した。また、介護支援サービスを行っている企業の代表取締役とのやりとりについては、メール上でのやりとりであったため、企業ホームページ等に記載されている内容も加味して整理をしている。また、ディスカッション内容やヒアリング内容から得た結果に対する根拠となる制度や考え方などを補完しながら記述を進めることで、ディスカッション等における発言の背景となった考え方などを抽出することが可能となった。

最後に、ヒアリング内容と先行研究等の調査に基づく有識者の意識から
、これからの介護のあり方を形作る上で重要な要因を抽出し、3 点にまとめている。その 3 点とは、介護事業者と介護支援サービス企業との意識の類似性、先端技術活用の実現性、政府が目指す地域包括ケアの今後についてであり、それぞれについての考察を行っている。

最後に、政府主導型のこれまでの制度設計では、政府が目指すような地域包括ケアの実現は困難であるという指摘を述べ、より現場や関係者間の密接な関わり合いが今後重要になってくるとし、本論文の結びにかえた。

目　　次

1　本論文の背景と目的　.…… 1
1.1　関心の所在　…… 1
1.2　日本の介護をめぐる社会背景と現状　…… 1
1.2.1　少子高齢化社会の進行
1.2.2　地方の過疎化問題
1.2.3　社会保障費の増大
1.3　介護の現状　…… 4
1.3.1　日本の介護の現状
1.3.2　介護に向けた行政の取り組み
1.3.3　介護に関する法律
1.3.4　介護関係者について
1.3.5　介護サービスの種類について
1.3.6　介護資格の種類について
1.3.7　要介護認定について
1.3.8　介護を取り巻く問題
1.3.9　外国人労働者の導入について
1.3.10　海外における介護への取り組み
1.4　介護領域における IT 技術利用　…… 19
1.4.1　IT 技術利用の枠組みについて
1.4.2　ロボット以外の介護における IT 技術利用
1.4.3　介護訓練 VR システムと実用事例
1.4.4　介護における VR 技術活用の懸念
1.5　小括　…… 23
2　本論文における分析の方法論と分析の焦点　…… 24
2.1　本論文における方法論　…… 24
2.2　先行研究における介護領域への IT 導入に関する研究　…… 24
2.4　分析の焦点　…… 24
2.4.1　先端技術に対する意識
2.4.2　先端技術導入に対する懸念
2.4.3　今後の介護について
2.5　小括　…… 25
3　調査の概要と対象について　…… 25
3.1　調査のスケジュール　…… 25

3.2　調査対象について …… 26
3.2.1　調査対象 A 氏について
3.2.2　調査対象 C 氏について
3.2.2　調査対象の選定理由
4　A 氏とのディスカッション …… 27
4.1　ディスカッションのテーマについて …… 25
4.1.1　先端技術について
4.1.2　外国人雇用について
4.1.3　介護施設の横のつながりについて
4.1.4　今後の介護事業のあり方について
5　C 氏へのヒアリング …… 30
5.1　現在の事業内容について …… 30
5.2　介護の今後について …… 31
6　これからの介護のあり方について …… 31
6.1　事業者と開発者の意識の類似性 …… 32
6.2　先端技術活用の実現性 …… 32
6.3　本稿の限界 …… 33
6.4　地域包括ケアの今後について …… 33
［文献］ …… 35